

# 学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

横浜市立十日市場小学校

令和5年10月31日（火）

緑区十日市場町 1392 番地-1

電話 : 981-0420

FAX : 983-1694

## スクラム組んで ノーサイド

副校長 石塚 敦 郎

「季節性」と言われていたインフルエンザの夏からの大流行、そして5類になったとは言え、いまだに終息しないコロナウイルス感染症の流行。そのような中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度も多くの保護者、地域の皆様の多大なる御理解と御協力をいただき、先日運動会を無事終えることができました。コロナ5類”格下げ後”の、またPTAの負担軽減や教職員の「働き方改革」推進下での”新しい”運動会となりました。おかげさまをもちまして、子どもたちは持てる力を運動会本番で十分に発揮できたのではないかと考えております。改めてお礼申し上げます。

さて、翻って世間を見渡すと、先日のラグビーワールドカップ「フランス大会」での日本チームの熱闘は周知のとおりです。「日本」チームと言っても、メンバーを見てみるととても国際色豊かです。このメンバーが呼吸を合わせて、パスを回し、スクラムを組んで、気持ちを合わせて目標に向かって一つになって進んでいく姿は、多くの人たちの感動を呼び起こしました。

私は常々、ラグビーは学級づくりと共通点、学ぶべきところがたくさんあると思っています。子どもたちはそれぞれ違った個性があり、考え方や行動の仕方は学級に40人いれば40通りあります。その子どもたちが言葉を掛け合い(言葉のパス回し)、気持ちを一つにして力を合わせ(スクラム組んで)、学級目標に向けて学習や行事などの学校生活を送っていく(ナイストライ!)。ラグビーの試合からは、学ぶべきことを多く見だすことができます。

また、試合には相手があります。試合となると、それぞれのチームが「目標」へ向け、相手に対して気持ちをむき出しにして、手や足を引っ張ったり、激しくぶつかったり、転ばせたりと、大げたと背中合わせです。しかし、試合が終わると「ノーサイド」です。「No Side」。「No」は「ない」、「Side」は「側(がわ)」、意識すると「味方側」と「相手側」、「勝った側」と「負けた側」が「ない」ということです。試合が終了すれば、今まであれほど激しくぶつかり合っている、「敵と味方」、「勝者と敗者」の区別はなくなり、互いの健闘を讃えようというメッセージが「ノーサイド」という言葉には込められているとのことです。

学校は様々な価値観のぶつかり合いの場です。いや学校だけではありません。世の中はそういうものです。将来社会に出ていく子どもたちには、「試合運び」だけでなく、「試合後」の気持ちのもち方や行動のあり方についてもたくさん学んでほしいと思っています。その意味においても、今年も良い運動会になったのではないかと考えています。

改めまして、ありがとうございました。

### ★学校納入金に関するお願い★

今年度最後の納入となります。業者等の支払いの関係上、期日内の納入のご協力よろしく申し上げます。引落日は11月9日(木)になります。残高確認をお願いします。※1口座につき10円の振替手数料がかかります。